

# やぐら通信

～ひとみキラキラ豊かな心と体の矢倉っ子～

1学期「やぐらっこアンケート」・「令和4年度全国学力・学習状況調査結果」より

キーワード 『いそがばまわれ！』 (チャレンジしよう。経験は宝物。)

矢倉の子どもたちにつけたい力・・・

1学期に実施した「やぐらっこアンケート」・「令和4年度全国学力・学習状況調査」より、やぐらの子どもたちにつけたい力について職員で話し合いました。アンケートの結果から見えてきたこと、先生方の見立てから子どもたちの現状、つけたい力についてお伝えします。矢倉の子どもは何事に対してもまじめで、全体的には落ち着いています。また、自分で決めたこと、言われたことはしっかりやり遂げることができます。学習については、ICTの活用で学べることが多いと実感しています。家庭学習の定着が見られ、学校からの課題をわからないままにしたいと思いがあり、わかるまで積極的に取り組む姿があります。しかし、自分には良いところがあると言えない児童が全体の20%おり、失敗したくないと不安が強いなど、自己有用感や挑戦心の低さが気になるところです。その背景には、「やってみて失敗した時、まわりにどう思われるか心配がある」「人とかかわりながら成し遂げる経験の不足」などが考えられます。のびのびとたくさんの経験から学び、成功体験を重ねていく、また、失敗から学び成功につながっていくことの経験をたくさん積み重ね自信をつけてほしいです。やぐらの子どもたちには「人とのつながりを大切に、自分に自信を持って受け身ではなく、自ら考え行動できる力」をつけてほしいと考えます。

学校では、職員も児童も『あいさつ』から・・・自ら発信し、人とつながります。

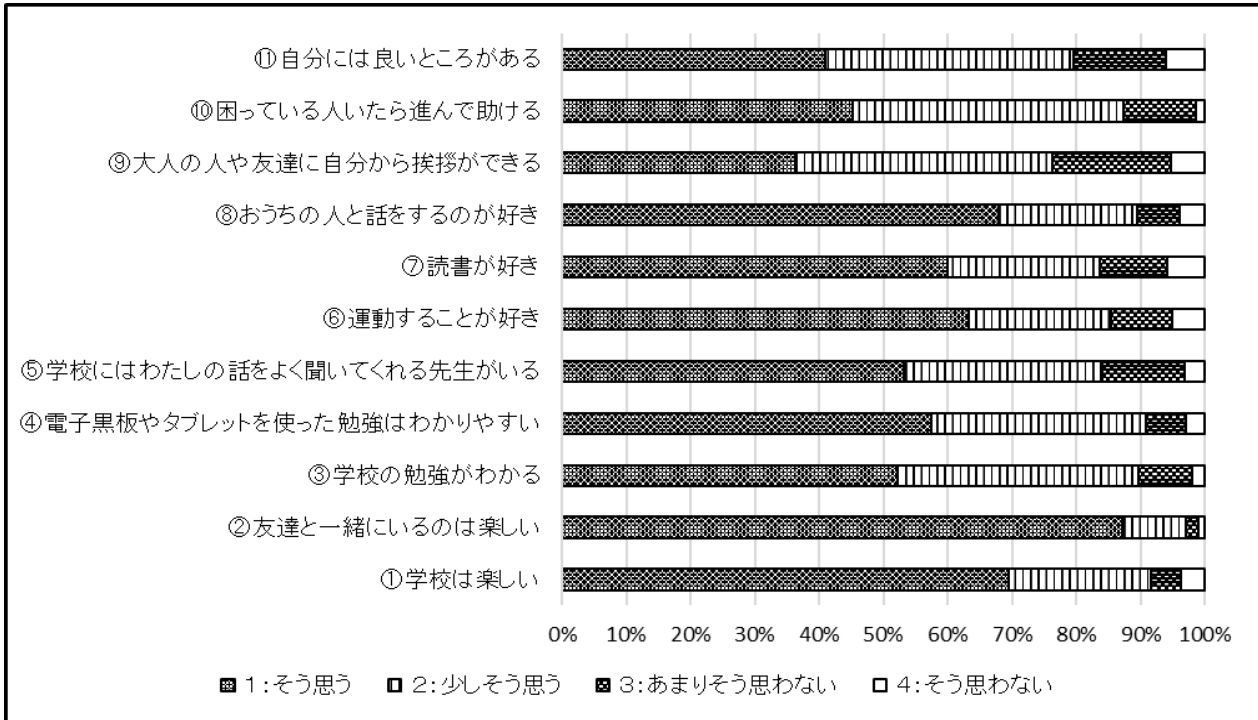
学校でももちろんですが、ご家庭や地域の皆様のお力もお借りして「チーム矢倉」で子どもたちの“学ぶ力”“生きる力”を高めていきたいと思っております。ご協力よろしく申し上げます。

🍌 🍌 🍌 子どもたちの「2学期チャレンジ」を紹介します。 🍌 🍌 🍌

- ・校長先生が言っていたように挨拶を友だちや家族だけではなく、近所の人とも挨拶してみたい。
- ・挨拶を毎日すること。夏休みもずっと挨拶していたので続けたい。
- ・挨拶をしっかりとする。始業式でも大切だと言われたので一人ひとりに挨拶できるようにしたい。
- ・挨拶➤人にあいさつされてあまり返せてなかったから。
- ・発表を積極的に！！ あいさつを返す！
- ・みんなを笑顔にすること。



「1学期やぐらっこアンケートより」(全校)



☆ ポイントが高い項目・・・「友だちと一緒にいるのは楽しい」

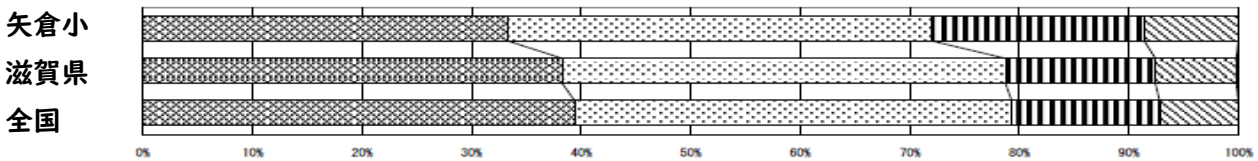
★ ポイントの低い項目・・・「自分には良いところがある」「自分から挨拶ができる」

「学力学習調査より」(4月17日実施 6年生)

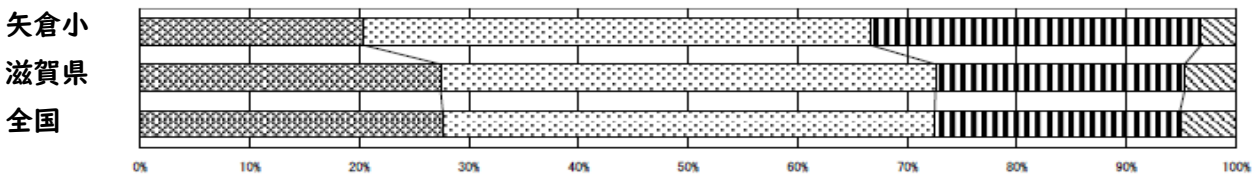
児童生徒質問紙より・・・

☐1. 当てはまる ☐2. どちらかといえば、当てはまる ☐3. どちらかといえば、当てはまらない ☐4. 当てはまらない ☐その他 ☐無回答

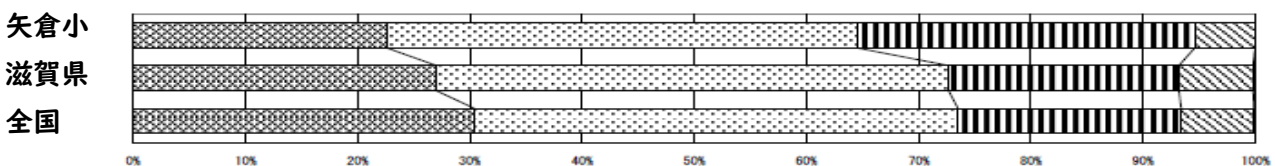
★ 自分には良いところがありますか



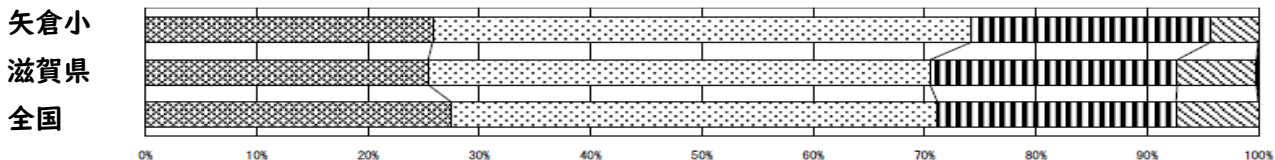
★ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか



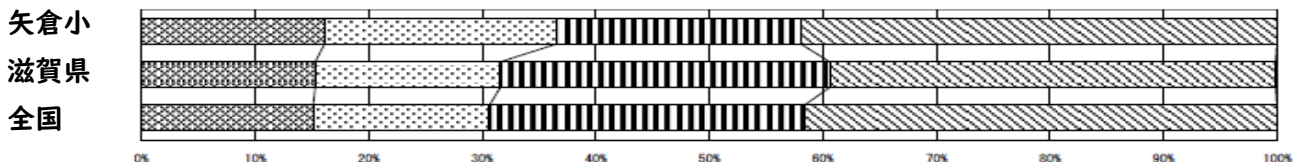
★ 自分と違う意見について考えるのは楽しい



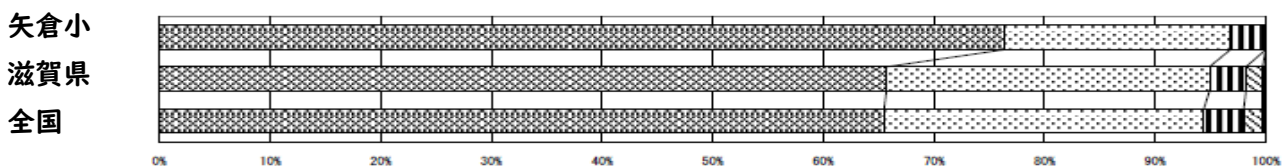
☆ 家で自分で計画を立てて勉強をしている



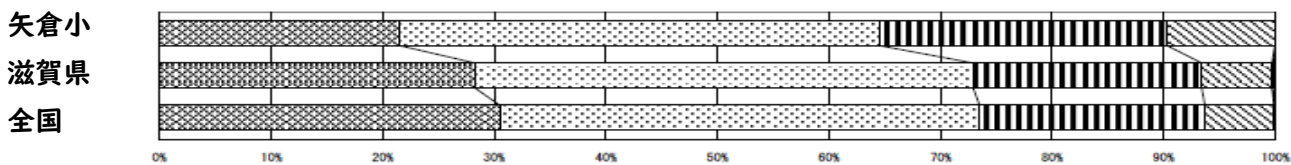
☆ 地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。



☆ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う



★ 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている



☆：ポイントが高い項目について>

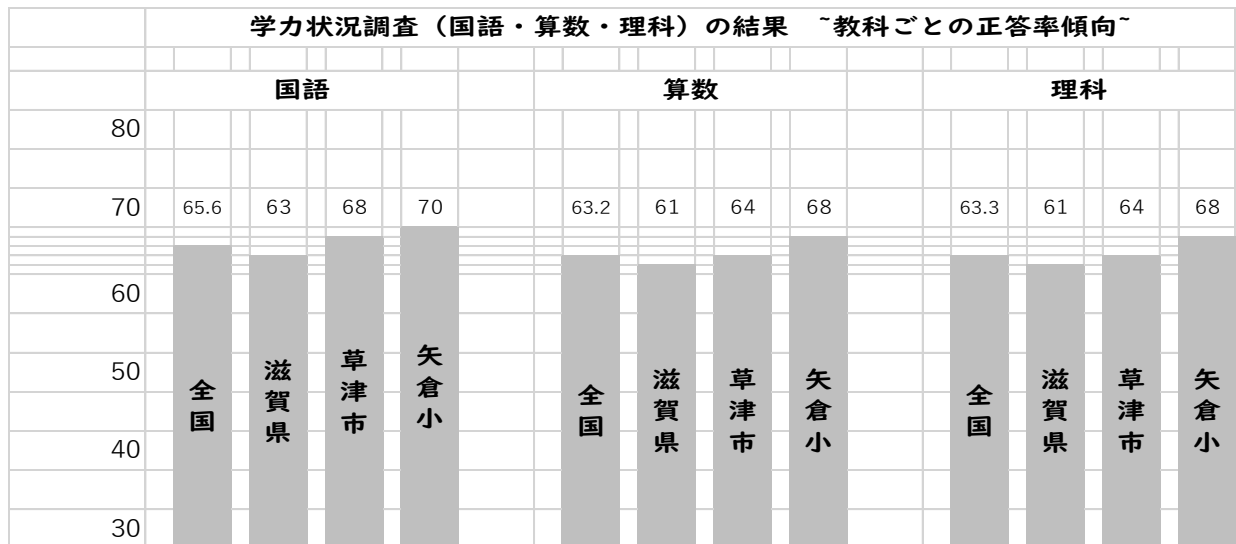
学習の取組については、学年により、週に1回程度行っている自主学習の定着。自主学習ノートの紹介が学習を進めるお手本となっていると考える。ICT機器についての項目では、授業のまとめ学習でタブレットを利用したWordやpowerpointなど積極的に活用していることで達成感や満足感が得られているのではないかと考える。地域とのつながりについては、地域学習やボランティアの方との交流が充実してきたこと、一緒に活動することで得られるものがあると実感できているのではないかと考える。



★：ポイントが低い項目について>

自己肯定感、有用感の低さ、自分の意見とは違う意見への肯定感の低さ、学級会の活用や総合・学活などにおける協働学習の取り組みのよいところが活かされていないことが考えられる。課題を克服し、充実させていく取り組みとして、朝、帰りの会、学習の振り返りなどで教師・児童がお互いを認め合う場、誉め合う場をつくる。合わせて家庭でも学習やスポーツ等できたことを認め、褒める言葉を多くしてもらう。意見を言い合えることのよさについては、学級会を活用して、話し合う機会を意図的に設定する。また、イベント等楽しいことを計画し実行する機会をもち、協力する場面を増やしたり、ペア・グループ学習で、互いの考えを認めたりする活動を取り入れていく。

学力状況調査（国語・算数・理科）より・・・



教科に関する調査から見得た成果 ➤

国語・算数・理科それぞれの平均正答率が全て、全国・県を上回り、各教科では次の課題でよい結果となった。国語では、「読むこと」登場人物の気持ちや行動、描写の読み取りについて。算数では、「図形」プログラミングによる作図について。理科では、予想と結果から自分の考えを持つことについてがあげられる。

成果につながったと考えられる取組として、ミライシードなどでのタブレットの個別学習で、自分の課題に合わせて取り組めたこと。読書タイムの習慣化。ICT 支援員の活用、ICT 機器の利用頻度。課題➤予想➤結果➤考察の学習の流れのマニュアル化などが考えられる。

教科に関する調査から見えた課題 ➤

国語では、相手の立場や意図を明確にしながら話し合うこと。算数では、数の処理について。全体を通して、知識の個人差、応用力に課題が見られる。

課題を克服するための施策や取組として、様々な行事や場面での話し合いの場、体験の場を設定する。テスト後の丁寧な見直しをする。教える側の課題として、児童の興味・関心に沿った教材の工夫をする。日常的に学習で得た知識が生活とどのように生かされているかを考えさせる機会を多く持つ。などが考えられる。

🍌 🍌 🍌 子どもたちの「2学期チャレンジ」を紹介します。 🍌 🍌 🍌

- ・忘れ物をしない！！
- ・早寝早起き！！
- ・好き嫌いをしないでしっかりご飯を食べる。
- ・休み時間は外で遊ぶ。
- ・50m走、記録にチャレンジ。
- ・ノートをきれいに書いて集中して学習する。
- ・漢字検定にチャレンジ
- ・漢字らくらくノートの直しをなくしたい。
- ・九九！！
- ・カタカナを覚える。
- ・文章力をつけたい。
- ・授業での発表を積極的にする。

